

◆NEW

2012年の出版物の売上が1兆8000億円を下回ることが確実になった。出版科学研究所がこのほどまとめたところによると、今年度に国内で出版された書籍と雑誌の売上の合計は、推定で

1

兆

7440

億円程度と、去年よりおよそ

600

億円減る見込み。

これは、1986年（昭和61年）以来、26年ぶりのこと。日本の出版界の規模はバブル期の初めに戻ったことになり、ピーク時の1996年（平成8年）の

3

分の

2

程度に縮小したことになる。